

「仕入返品」に誤りがありました。配布冊子(BL23055)では、200とありますが、正しくは、400となります。お詫びして訂正いたします。

### 三分法の応用～五分法・七分法・九分法～

期中における仕入返品等の状況を把握・管理する観点から、これら取引が生じた場合に仕入勘定・売上勘定から考慮せず、独立した勘定で記録する場合があります。ただし、あくまでもこれらの処理は内部管理的な必要から便宜的に行っている物であるにすぎないため、期末においては正当な三分法の状況（純仕入高・純売上高）を示すように修正しなくてはなりません。

・テキスト P.47 【設例3】改題

#### (1) 決算整理前残高試算表

借方		貸方	
繰越商品	4,000	仕入戻し	400
仕入	20,000	仕入割戻	1,000
売上割引	200	仕入割引	300

#### (2) 決算整理仕訳

##### ① 通常の三分法への修正

受験対策上重要なことは、五分法や七分法で用いる勘定を覚えることではなく、前 T/B に本来計上されているべきではない勘定を判読し、これらを適宜仕入勘定及び売上勘定から控除することです。

(仕入戻し)	400	(仕入)	1,400
(仕入割戻)	1,000		

※ 仕入割引は控除してはいけません。ご注意ください。

上記処理の結果、仕入勘定は純仕入高を示すこととなります。

仕入		
総仕入高(前 T/B)	20,000	← 訂正箇所
	}	
	仕入返品 400 仕入割戻 1,000	
	}	
	純仕入高 18,600	

上記の状況を作り、そのうえで売上原価の計算を行きましょう。(テキスト参照)

テープコード

--	--	--

